

「禁煙外来の受診回数が禁煙成功率に与える影響について」

兵庫支部 企画グループ 主任 山口 真寛

企画グループ長 北原 陽子

大阪大学大学院 医学系研究科社会環境医学講座 教授 祖父江 友孝

概要

【目的】

協会けんぽ兵庫支部が実施した「禁煙外来による禁煙効果の分析」において、兵庫県内の医療機関別の禁煙外来受診回数にバラツキがあることが確認された。禁煙外来の受診回数について、2016年度の診療報酬改定にて、当該保険医療機関における過去1年間のニコチン依存症管理料の平均継続回数が2回未満の場合に診療報酬が減算されることになったことから、受診回数が禁煙成功に関連する重要なものであると考えられる。

当分析では、禁煙外来の受診回数の違いが禁煙成功率に与える影響について分析することを目的とする。

【方法】

2015～2017年度のレセプトデータ（診療行為データ）及び2015～2018年度の健診データを使用する。対象者は診療行為にニコチン依存症管理料が算定されており、算定された診療年月以降に健診を受診した2,984人。これらの対象者の診療行為のニコチン依存症管理料の種類により、禁煙外来に要した受診回数を明らかにし、受診回数別の禁煙成功率を算出する。

【結果】

全対象者の分析結果としては、禁煙外来受診者2,984人中、禁煙成功者は1,462人（禁煙成功率49.0%）であった。禁煙外来の受診回数別にみると、1回受診は受診者469人中、禁煙成功者は140人（禁煙成功率29.9%）、2～4回受診は受診者1,833人中、禁煙成功者は885人（禁煙成功率48.3%）、5回受診は受診者682人中、禁煙成功者は437人（禁煙成功率64.1%）であり、受診回数が多くなるほど禁煙成功率が有意に高くなった。

【考察】

保険者が健診、レセプトデータを活用することで、禁煙外来受診者の禁煙成功率を受診回数別に把握することが可能であった。その結果、禁煙外来の受診回数が多くなるほど、禁煙成功率が高くなることが示唆された。また、受診回数が少なくても禁煙成功に繋がることも確認できた。ただし、禁煙外来受診者の喫煙歴や1日の喫煙本数等について把握できていないことは分析の限界と考える。

保険者としては、禁煙外来を活用した禁煙が有効であることを加入者に伝え、喫煙率減少の取り組みを進めていきたい。

【目的】

協会けんぽ兵庫支部が実施した「禁煙外来による禁煙効果の分析」において、兵庫県内の医療機関別の禁煙外来受診回数にバラツキがあることが確認された。

禁煙外来の受診回数について、2016年度の診療報酬改定にて、当該保険医療機関における過去1年間のニコチン依存症管理料の平均継続回数が2回未満の場合に診療報酬が減算されることになったことから、受診回数が禁煙成功に関連する重要なものであると考えられる。

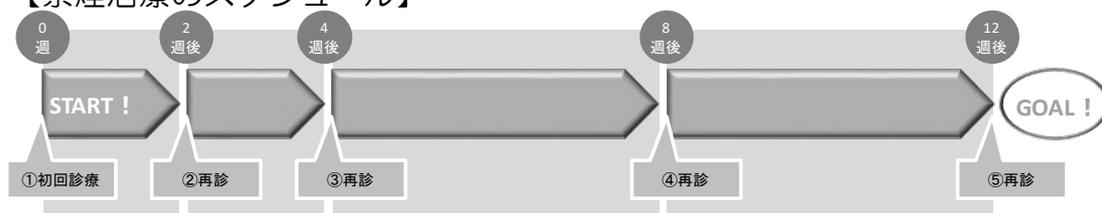
当分析では、禁煙外来の受診回数の違いが禁煙成功率に与える影響について分析することを目的とする。

【禁煙外来とは？】

2006年から禁煙治療に健康保険等が適用され、患者さんの負担も軽くなりました。禁煙治療を健康保険等で受けるには一定の要件があり、1回目の診察で医師が以下の要件について確認します。

- ①ニコチン依存症を診断するテスト（TDS）で5点以上
- ②（1日の喫煙本数×喫煙年数）が200以上 ※35歳以上のみ
- ③禁煙したいと思っている
- ④医師から受けた禁煙治療の説明に同意

【禁煙治療のスケジュール】



- 健康保険等で禁煙治療のみを行った場合の自己負担額（3割負担として）は、約3か月の治療スケジュールで13,000～20,000円程度です。

（参考）禁煙治療のための標準手順書第6版：2014

【方法】

（使用データ）

兵庫支部の2015～2017年度のレセプトデータ（診療行為データ）及び2015～2018年度の健診データを使用。

（対象者）

診療行為にニコチン依存症管理料が算定されており、算定された診療年月以降に健診を受診した2,984人。

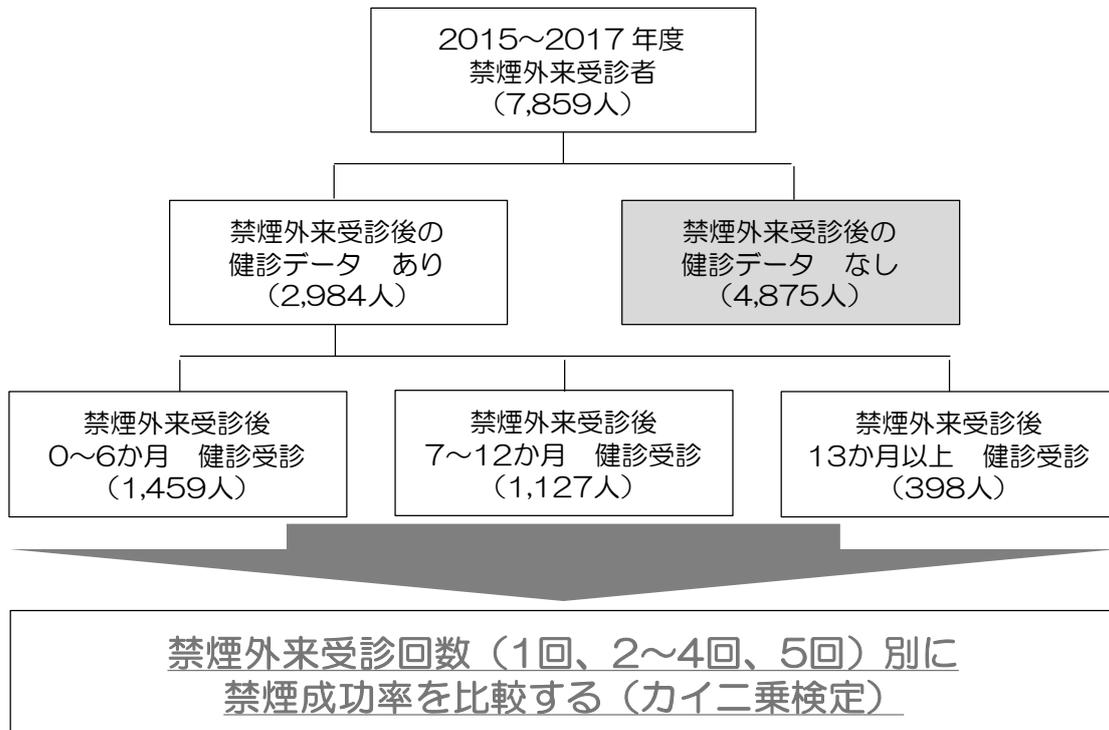
（分析方法）

- ✓ 禁煙成功率の判定方法は、ニコチン依存症管理料が算定された最後の月以

- 降の健診の間診票にて、喫煙「いいえ」と回答した者を禁煙成功者とする。
- ✓ 最終の禁煙外来受診日から禁煙成功を判定する健診受診日までの期間を以下の3パターンに分類。
 - ①0～6か月 ②7～12か月 ③13か月以上
 - ✓ 最終の禁煙外来受診日の診療行為(ニコチン依存症管理料)の種類により、禁煙外来の受診回数を以下の3パターンに分類。
 - ①1回受診 ②2～4回受診 ③5回受診

上記の条件のもと、禁煙外来受診回数別の禁煙成功率を算出する。なお、統計解析には SPSS Statistics ver22 を使用した。

図1：分析対象者のロジック



【結果】

1. 基本統計

兵庫支部加入者のうち、2015～2017年度の禁煙外来受診者は7,859人（表1）。そのうち、禁煙外来受診後に健診受診していたのは、2,984人（表2）。

表1：2015～2017年度禁煙外来受診者

	性別		合計
	男性	女性	
年齢階級 10～19歳	※	※	13
10歳刻み 20～29歳	528	271	799
30～39歳	1,449	609	2,058
40～49歳	1,570	755	2,325
50～59歳	1,071	449	1,520
60～69歳	741	223	964
70～74歳	129	51	180
合計			7,859

※集計値が10人未満になる場合は非表示としています。

表2：2015～2017年度禁煙外来受診者（受診後健診受診有）

	性別		合計
	男性	女性	
年齢階級 30～39歳	608	145	753
10歳刻み 40～49歳	906	252	1,158
50～59歳	576	136	712
60～69歳	295	35	330
70～74歳	※	※	31
合計			2,984

※集計値が10人未満になる場合は非表示としています。

2. 禁煙外来受診回数別禁煙成功率分析

(1) 全対象者の禁煙成功率

禁煙外来受診者 2,984 人中、禁煙成功者は 1,462 人（禁煙成功率 49.0%）であった。禁煙外来の受診回数別にみると、1 回受診は受診者 469 人中、禁煙成功者は 140 人（禁煙成功率 29.9%）、2～4 回受診は受診者 1,833 人中、禁煙成功者は 885 人（禁煙成功率 48.3%）、5 回受診は受診者 682 人中、禁煙成功者は 437 人（禁煙成功率 64.1%）であり、受診回数が多くなるほど禁煙成功率が有意に高くなった（表 3）。

表 3：全対象者による禁煙成功率

	禁煙成功者		禁煙非成功者		合計		禁煙成功率
	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢	
1回受診	140	44.5±9.2	329	45.8±9.3	469	45.4±9.3	29.9%
調整済み残差	-9.0		9.0				
2～4回受診	885	46.6±9.3	948	46.0±9.1	1,833	46.3±9.2	48.3%
調整済み残差	1.0		-1.0				
5回受診	437	49.1±9.7	245	50.0±9.6	682	49.4±9.7	64.1%
調整済み残差	9.0		-9.0				
計	1,462	47.1±9.5	1,522	46.6±9.3	2,984	46.9±9.4	49.0%

※平均年齢±標準偏差

0.1%水準で有意 p<0.001

(2) 禁煙外来受診後 6 か月以内の健診結果による禁煙成功率

禁煙外来受診者 1,459 人中、禁煙成功者は 784 人（禁煙成功率 53.7%）であった。禁煙外来の受診回数別にみると、1 回受診は受診者 234 人中、禁煙成功者は 67 人（禁煙成功率 28.6%）、2～4 回受診は受診者 871 人中、禁煙成功者は 462 人（禁煙成功率 53.0%）、5 回受診は受診者 354 人中、禁煙成功者は 255 人（禁煙成功率 72.0%）であり、受診回数が多くなるほど禁煙成功率が有意に高くなった（表 4）。

表 4：禁煙外来受診後 6 か月以内の健診結果による禁煙成功率

	禁煙成功者		禁煙非成功者		合計		禁煙成功率
	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢	
1回受診	67	44.3±8.1	167	46.7±9.5	234	46.0±9.1	28.6%
調整済み残差	-8.4		8.4				
2～4回受診	462	47.4±9.1	409	47.6±9.1	871	47.5±9.1	53.0%
調整済み残差	-0.6		0.6				
5回受診	255	49.5±9.6	99	50.2±9.7	354	49.7±9.6	72.0%
調整済み残差	7.9		-7.9				
計	784	47.8±9.3	675	47.7±9.3	1,459	47.8±9.3	53.7%

※平均年齢±標準偏差

0.1%水準で有意 p<0.001

(3) 禁煙外来受診後 7～12 か月の健診結果による禁煙成功率

禁煙外来受診者 1,127 人中、禁煙成功者は 513 人（禁煙成功率 45.5%）であった。禁煙外来の受診回数別にみると、1 回受診は受診者 160 人中、禁煙成功者は 47 人（禁煙成功率 29.4%）、2～4 回受診は受診者 715 人中、禁煙成功者は 320 人（禁煙成功率 44.8%）、5 回受診は受診者 252 人中、禁煙成功者は 146 人（禁煙成功率 57.9%）であり、受診回数が多くなるほど禁煙成功率が有意に高くなった（表 5）。

表 5：禁煙外来受診後 7～12 か月の健診結果による禁煙成功率

	禁煙成功者		禁煙非成功者		合計		禁煙成功率
	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢	
1回受診	47	46.5±9.6	113	46.2±9.0	160	46.3±9.1	29.4%
調整済み残差	-4.4		4.4				
2～4回受診	320	46.3±9.0	395	46.3±8.5	715	46.3±8.7	44.8%
調整済み残差	-0.7		0.7				
5回受診	146	49.5±9.5	106	50.8±9.2	252	50.0±9.3	57.9%
調整済み残差	4.5		-4.5				
計	513	47.2±9.3	614	47.1±8.9	1,127	47.1±9.1	45.5%

※平均年齢±標準偏差

0.1%水準で有意 p<0.001

(4) 禁煙外来受診後 13 か月以降の健診結果による禁煙成功率

禁煙外来受診者 398 人中、禁煙成功者は 165 人（禁煙成功率 41.5%）であった。禁煙外来の受診回数別にみると、1 回受診は受診者 75 人中、禁煙成功者は 26 人（禁煙成功率 34.7%）、2～4 回受診は受診者 247 人中、禁煙成功者は 103 人（禁煙成功率 41.7%）、5 回受診は受診者 76 人中、禁煙成功者は 36 人（禁煙成功率 47.4%）であり、受診回数による有意な差はみられなかった。（表 6）。

表 6：禁煙外来受診後 13 か月以降の健診結果による禁煙成功率

	禁煙成功者		禁煙非成功者		合計		禁煙成功率
	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢	
1回受診	26	41.0±10.6	49	41.7±8.3	75	41.4±9.1	34.7%
調整済み残差	-1.3		1.3				
2～4回受診	103	43.4±10.6	144	41.1±9.0	247	42.1±9.7	41.7%
調整済み残差	0.1		-0.1				
5回受診	36	44.3±10.4	40	47.5±10.0	76	46.0±10.3	47.4%
調整済み残差	1.2		-1.2				
計	165	43.2±10.5	233	42.3±9.3	398	42.7±9.8	41.5%

※平均年齢±標準偏差

0.1%水準で有意 p=0.283

【考察】

保険者が健診、レセプトデータを活用することで、禁煙外来受診者の禁煙成功率を受診回数別に把握することが可能であった。その結果、禁煙外来の受診回数が増えるほど、禁煙成功率が高くなることが示唆された。また、「禁煙外来による禁煙効果の分析ⁱ⁾」において、禁煙意志がある喫煙者の禁煙成功率が9.2%であることと比べて、当分析の受診回数1回の禁煙成功率が約30%であることから、受診回数が少なくても禁煙外来を受診することで禁煙成功に繋がることも確認できた。

ただし、禁煙外来受診者の喫煙歴や1日の喫煙本数等について把握できていないことは分析の限界と考える。

保険者としては、禁煙外来を活用した禁煙が有効であることを加入者に伝え、喫煙率減少の取り組みを進めていきたい。

【備考】

第13回日本禁煙学会学術総会で発表（口演）

ⁱ⁾ 協会けんぽ兵庫支部「禁煙外来による禁煙効果の分析」（令和元年度調査研究報告書）